

# 「フランスの若者と雇用」

※フランスでも格差社会が広がっているそうです。日本と共通する現象と問題が起きているフランスでは、どのような取り組みが行われているのか。パリ在住の気鋭のフランス人ジャーナリストが現地の様子を語ります（逐語訳つき）。  
 (当初は6月20日(土)でしたが、都合により6月26日(金)に変更となりました。)

講師

エミリー・ギヨネ Emilie Guyonet さん

フランス、ジャーナリスト、ルモンド・ディプロマティック契約記者、  
 「ロベール・ギラン日本報道賞」受賞者

講演テーマ

「2009年におけるフランスの若者と雇用問題」

日時

2009年6月26日(金) 午後6時—8時

場所

平和と労働センター・全労連会館 3階 304, 305室

(東京・御茶ノ水、地図参照)

資料代

500円

参加希望者は、当日、会場にお越し下さい。できれば資料準備の都合上、先に事務局へご連絡下さいますようお願い申し上げます。

ルモンド・ディプロマティックは、フランスの新聞ルモンドの評論版です。日本語版のインターネットサイトがあります。彼女の日本に関する主要記事には、つぎのようなものがあります。

- ・「日本の新たな軍事的野心」(日本語になっています、2006年4月。www.diplo.jp)
- ・「日本の再生のための異議」(フランス語のみ、2008年6月)。  
 …新自由主義と雇用問題などについて触れています。
- ・「われら日本人と呼ばれない者」(フランス語のみ、2007年3月)。  
 …日本の平和運動と戦争に動員された旧植民地の人々への戦争責任などについて触れています。

## 【講演要旨】

- ・フランスの若者は社会に対してヨーロッパで一番悲観的。
- ・フランス政府は教育改悪を進めている。
- ・若者の失業は政府の政策が作り出したものであり、増加の一途をたどっている。
- ・月収1000ユーロ(13万円)のプレカリアート若者世代が増加中。
- ・「偽装雇用」がはびこる。
- ・若者支援政策「連帯収入」、「失業手当」、若者雇用推移について。
- ・わき起こる反対運動。雇用政策反対。プレカリアート運動の出現。
- ・政府、政党、労働組合の対応策について。

【主催・連絡先】 非営利・協同総合研究所いのちとくらし

〒113-0034 東京都文京区湯島2-7-8-2F

電話 03-5840-6567 FAX 03-5840-6568

e-mail: inoci@inhcc.org http://www.inhcc.org/

